

Stageごとに症例を  
わかりやすく解説

その Stage で、どの治療方法を用いるのか、また治療目標を提示

その Stage で解説する Case のタイトルとページ数を提示

タイトルは、来院した際の患者の初診の状態、それに対する治療方法をベースに構成

年齢、性別、初診時期、概要、診断名、治療方針などの患者情報を記載

矯正治療の技術的難易度を Stage1~10の10段階に分類している

Case の最後に治療のポイントを解説

# 矯正治療を学んでみませんか？

## 矯正歯科治療の基本と

### 類似症例が必ず見つかる！

## ラーニングステージ別臨床例60

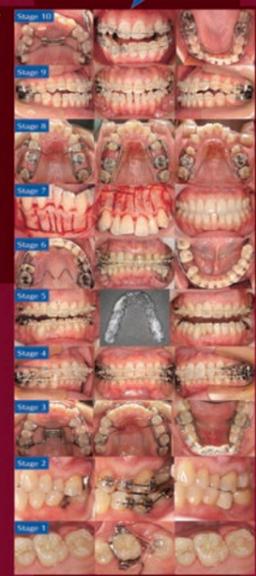
著者 石井彰夫

矯正歯科治療の基本と  
類似症例が必ず見つかる！

ラーニング  
ステージ別  
臨床例60

GPによる包括的歯科治療のために

著 石井彰夫



一般歯科臨床医 (GP) が行う包括的歯科治療において、矯正歯科治療という治療オプションの有効性は計り知れない。

本書では、その矯正治療を一般歯科臨床医 (GP) 自らで行ううえで必須となる歯科矯正学の基本的事項 (検査、診断、治療計画、使用材料ほか) をまず解説。そのうえで、矯正治療の技術的難易度をステージ1~10の10段階に分類し、これらそれぞれの治療計画、使用器具や技術的な要諦が、60の豊富な臨床例で解説されている。

また、実際に矯正歯科治療を必要としている患者が来院した場合、どのように治療を行うべきか迷うことが多くあると思われる。そのような場合に重宝するのが「症例早見表」である。「症例早見表」を確認するだけで、目の前の患者と類似した症例をすぐ見つけることが可能となっている。ぜひ、臨床で活用していただきたい。

本書の推薦者 (「推薦の言葉」より抜粋)



**筒井照子 (福岡県開業)**  
日本包括歯科臨床学会顧問  
石井彰夫先生は一般臨床家でありながら、あらゆる手札を使って、「よくここまで治されている」と感心するほど上手に治されています。



**宮島邦彰 (愛知県開業)**  
国際矯正歯科アカデミー所長  
待望の書籍が出版されました。本書は、今までになかった1口腔単位で包括歯科医療を考える指針となるものです。



**【略歴】**  
1988年、徳島大学歯学部を卒業し、同年、岡山大学歯学部歯科補綴学第二講座 (現咬合・有床義歯補綴学分野) に入局。1992年、水島中央病院 (岡山県) の歯科医長を務め、1994年、岡山県岡山市に石井歯科医院を開業し、2000年には医院名を石井歯科クリニックに変更。

**【主な所属・役職】**  
日本矯正歯科学会、日本成人矯正歯科学会認定講習会Ⅱ期卒、日本口腔インプラント学会専門医、日本顎咬合学会認定医、日本包括歯科臨床学会、日本補綴歯科学会、日本ティップエッジ矯正研究会認定医・理事、ODC (Okayama Dentists Club) 主幹・代表

著者 石井彰夫

注文書 矯正歯科治療の基本と類似症例が必ず見つかる！ラーニングステージ別臨床例60

モリタ商品コード:208040796 冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。

QUINTESSENCE PUBLISHING 日本 ●サイズ:A4判 ●448ページ ●定価22,000円 (本体20,000円+税10%)

クインテッセンス出版株式会社

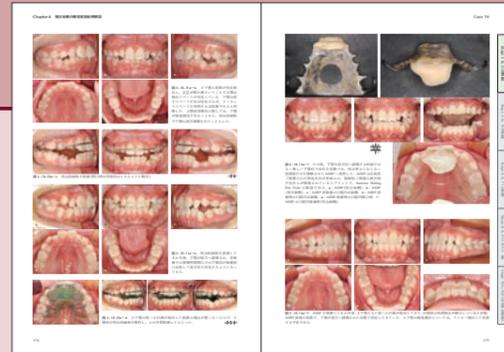
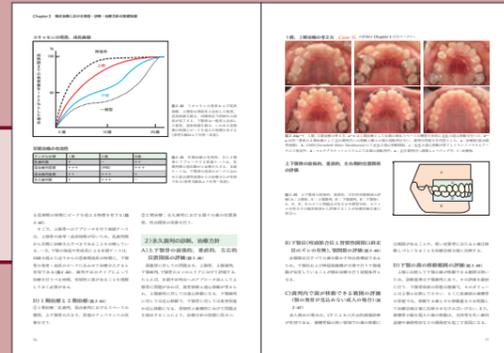
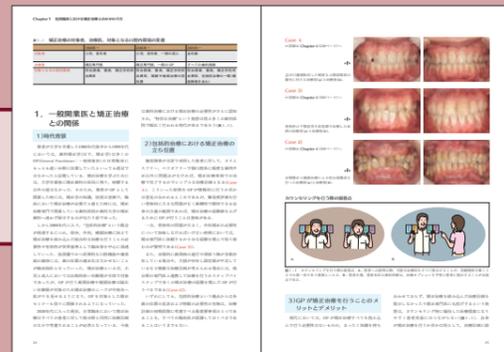
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウビル  
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 https://www.quint-j.co.jp e-mail mb@quint-j.co.jp



# 本書の特徴

1. GPの著者だからこそわかる、**包括的歯科治療における矯正治療**について徹底解説
2. 矯正治療をGP自らで行ううえで必須となる**歯科矯正学の基本的事項**(検査, 診断, 治療計画, 使用材料ほか)を学べる
3. Chapter 4では矯正治療の**技術的難易度**を Stage 1~10の**10段階に分類し**, **60の豊富な臨床例**を提示

## CONTENTS



### Chapter 1 どう向き合う？ 包括臨床における矯正治療とのかかわり方

1. 一般開業医と矯正治療との関係
2. GPとして矯正治療を歯科医院内にどのように取り入れるのか？

### Chapter 2 まず知っておきたい！ 矯正治療における検査・診断・治療方針の基礎知識

1. 矯正治療に必要な基礎知識
2. 資料採得, 分析
3. 総合的な診断, 治療方針

### Chapter 3 正しい医療判断を促し, 目的とするゴールへ！ 矯正治療の患者説明, 使用材料・器具の基礎知識と, 治療中における歯の移動に関する考慮事項

1. 治療計画の患者説明
2. 矯正治療に用いる器具, 材料
3. 矯正治療中における歯の移動に関する考慮事項

### Chapter 4 類似症例を見つけて臨床に生かす！ 矯正治療の難易度別症例解説

- 初級編(Stage 1 & 2)
- 中級編(Stage 3 to 5)
- 上級編(Stage 6 & 7)
- リカバリー編(Stage 8 & 9)
- これからの矯正治療編(Stage 10)

60の臨床例を提示し、**矯正歯科治療のあらゆるパターン**を網羅！

## Chapter 4のここに注目！！

類似症例がすぐに見つかる  
症例早見表を掲載

類似症例がすぐに見つかる！ 症例早見表(Case 1~30)

※ 1. 歯列不正のタイプにおける診断名の略称は、歯：歯生、上：上顎前突、下：下顎前突、上下：上下顎前突、開：開咬、過：過咬合、としている。2. 歯列不正改善のために抜歯した場合のみ、「(抜歯)抜歯矯正」としている。

Case	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ページ	113~	115~	119~	122~	125~	128~	132~	136~	141~	145~	149~	154~	159~	165~	171~
小児矯正															
成人矯正															
歯列不正のタイプ	上/過							歯/上							
アンクル(歯/骨)骨格性(歯)				1/1	1/1			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
交叉咬合															
空歯歯列(正中離開)															
顎偏位症															
嚙み合わせ不全, 先天性欠如															
ガースマイル															
歯周炎															
根短矯正															
片顎矯正															
全顎矯正															
(抜歯)抜歯矯正															
非抜歯矯正															
インフロン矯正															
コルテコトミー															
側方拡大															
前方拡大															
臼歯の後方移動															
隣接面閉合															
歯の移動様式															
整歯															
圧下															
開咬															
トルキング															
歯体移動															

小児矯正(1期, 2期)と成人矯正を分類

限局矯正, 全顎矯正などの矯正範囲がわかる

アンクル分類, 骨格性分類など, 診断名がわかる

そのCaseに用いられた矯正テクニックを確認できる

そのCaseに用いられた矯正方法がわかる(抜歯矯正, 非抜歯矯正など)